

2014年6月15日

世界難民の日 関西集会2014

世界の中の日本と難民保護



認定NPO法人 難民支援協会
渉外部 小川昂子

難民支援協会＝JAR

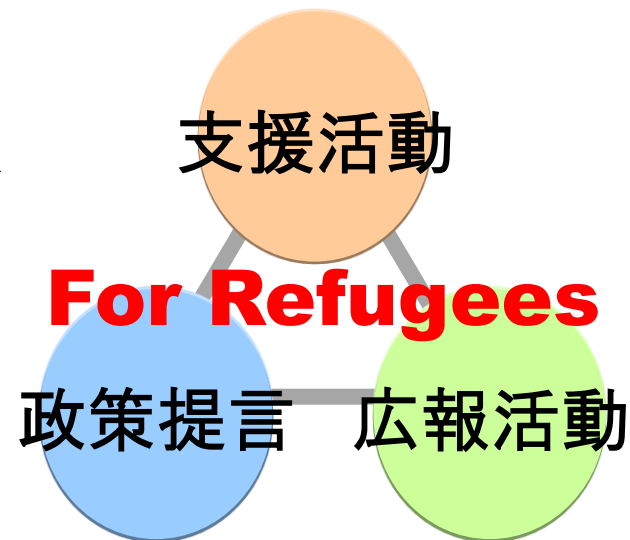
私たちは、日本の難民が、
食べたり、寝たり、
働いたりする、
そんな当たり前の生活を
支援する団体です。

＊受賞歴

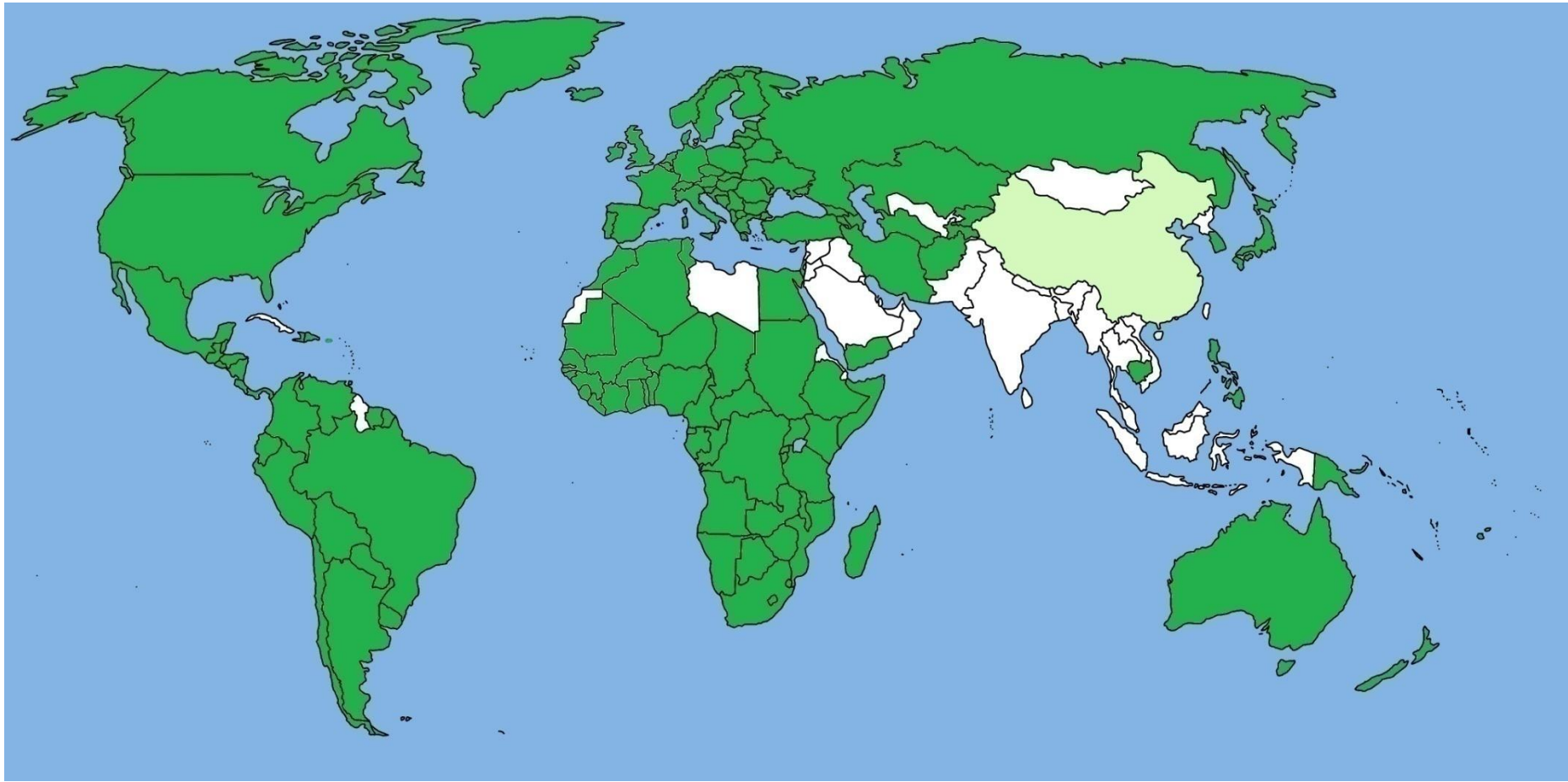
2013 エクセレントNPO大賞受賞 等

＊国連難民高等弁務官事務所

(UNHCR)との事業実施契約パートナー



世界の難民条約加盟国とアジア太平洋地域

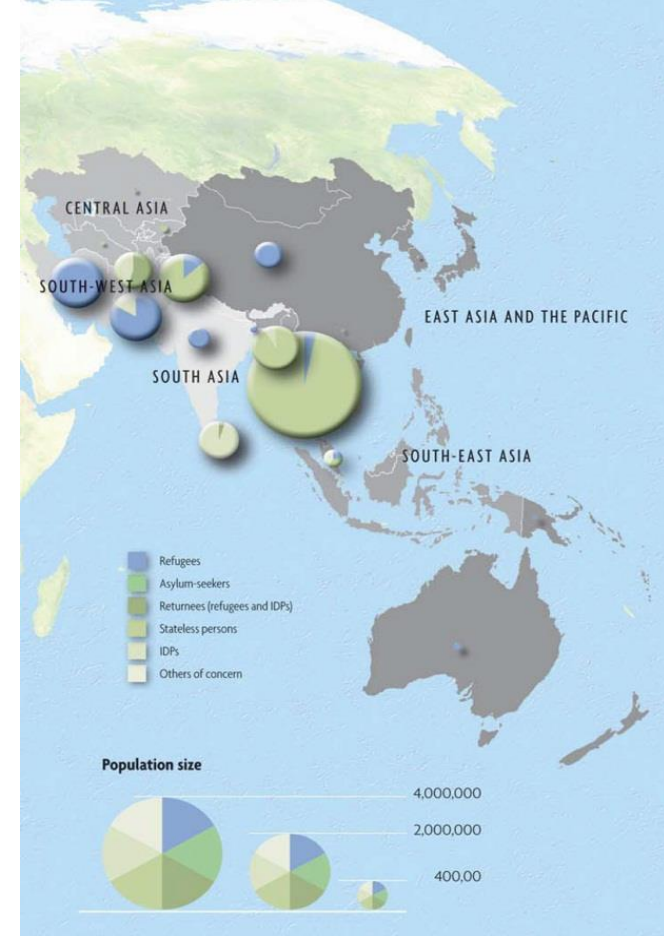


■ 難民条約加盟国 *中国は難民条約に加盟しているが、現在難民に保護を提供していない

□ 難民条約未加盟国

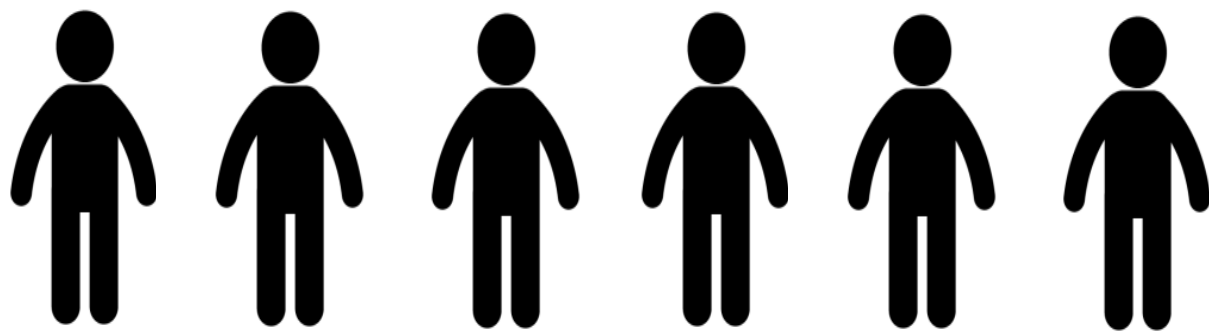
アジア太平洋地域と難民

- 世界の難民の1/3～1/2は、出身地も避難先もアジア太平洋地域
- この地域の61か国中、難民条約に加盟しているのは26か国。
⇒多くの国で政府の代わりにUNHCRが難民の登録・認定を実施
- 多くの難民はどこにも登録されていない
⇒その結果、この地域の多くの庇護希望者は、以下のような人権侵害に直面することが多い：
 - 強制送還
 - 恣意的で長期的な収容
 - 医療、教育、就労へのアクセスなし
 - 性およびジェンダーに基づく暴力や人身取引、拷問など



東アジア諸国の難民保護

- **韓国: 難民保護法の成立**(2012年12月可決、2013年7月施行)
 - 難民申請者への生活支援、第三国定住による受け入れ、独立した異議審査、など
 - 「難民支援センター」の建設と開設
- **台湾: 難民保護法が行政院を通過し立法院で審議中**
- **中国: 新入管法(2013年改正)の下で、難民に法的地位が与えられる可能性**



6人

難民申請者への公的支援



*（出典）2010年11月4日山内康一議員による質問主意書



7:31

東京



8℃

“日本でアフリカ人
ホームレス続出”

日本に逃れてきたシリア難民の話



©UNHCR/ M. Hofer

日本の難民保護の課題

- 少な過ぎる難民認定
- 難民認定制度の問題（空港での庇護へのアクセス、立証責任、代理人、通訳、補完的保護、異議審査の独立など）
- 難民申請中の不安定な法的地位・収容
- 難民申請者への不十分な生活支援
- 社会統合に関する政策や支援策の不十分さ
- 第三国定住難民と条約難民、人道配慮に基づく在留許可者の支援へのアクセスの格差
- 家族統合の問題

FRJ なんみんフォーラム(FRJ)



Catholic Commission of Japan for Migrants, Refugees and People on the Move
日本カトリック難民移住移動者委員会



カリタスジャパン公式サイト



名古屋難民支援室
Door to Asylum Nagoya



ありがとうございました。

www.refugee.or.jp